

影絵アニメーションフィルムのデジタル化と公開

有限会社 劇団かかし座

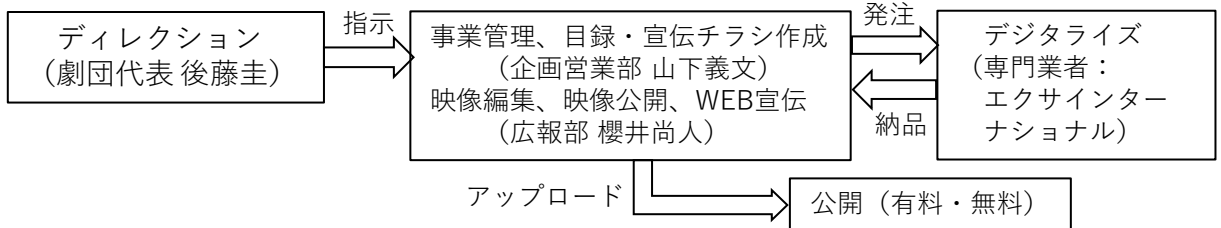
概要

1976～1981年に、劇団かかし座が制作しTBS系列局にて放映された影絵映像「影絵グリム童話」「影絵むかし話」は、「厚生省中央児童福祉審議会推薦番組」を受賞し、海外にも輸出され放映されるなど、国内外で高い評価を受けた。

しかしながらその後、再放映されることなく映像原盤は当時のフィルムのまま保管され、劣化が進行している状況だった。

そこで前年度および今年度の本事業にて、フィルム映像のデジタル化を行い、WEBにて公開し誰もが視聴できるよう取り組んだ。

体制／手法



成果

【成果物】

- ・「影絵むかし話」全65話のうち、未デジタル分39話のデジタル化。
- ・影絵映像の目録作成。(修正更新)
- ・影絵映像公開の宣伝チラシの作成。



鶴の恩がえし



酒てん童子

【公開方法】

[有料公開：全作品] 劇団かかし座ビデオシアター (既にデジタル化した78話も含め) 計117話が、Vimeoにて月額800円で全作品視聴可。



[無料公開：一部] 劇団かかし座YouTubeチャンネル 公開期間：令和5年度末までの予定



【文化的・社会的・経済的な意義】

- ・アニメーションとして制作された影絵映像は、国内外を見渡しても極めて少なく、本映像は文化財価値・資料的価値を有する貴重なものであり、公開により映像研究に寄与する。
- ・「厚生省中央児童福祉審議会推薦番組」を受賞したこれらの映像が、誰でもいつでも視聴できるようになる。
- ・また、既にデジタル化が済んでいる「影絵グリム童話」と合わせ、幼稚園・保育園等にて保育コンテンツとして活用してもらい、収益を得る。



劇団かかし座ビデオシアター 宣伝チラシ

【残された課題】

- ・本映像を幅広い方に知っていただき、視聴・活用してもらうための広報・宣伝の工夫。記録映像としてだけでなく、エンターテインメント映像としての収益化。